

LEADER'S VOICE

リーダーズ
ボイス

「大分発」思い大事に

HAB&Co.（ハブアンドコー、大分市）代表取締役

森 祐太さん

大分市を拠点に、全国の中小企業の課題を解決。『HAB&Co.（ハブアンドコー）』はシステム開発、デザインの受託、コワーキングスペース運営まで、幅広い事業を手掛ける。

便利な採用サイト

人材募集サイトを手軽に開設、運用できるサービス「SHIRAHANA（シラハナ）」を2019年、自社開発。雇用者と求職者、双方の利便性向上に挑んだ。「若い求職者は基本的にネットで検索する。しかし自社求人サイトの整備にまで手が回らない地方の中小企業が多い」と森祐太代表取締役（35）。両者のギャップが開発動機になった。

雇用者が募集する人物像や勤務地などを入力すると、求職者に訴求する文章、写真、レイアウトを人工知能（AI）が提案する。大手インターネット求人媒体と提携。外部の求人サイトにも自動的に掲載される。履歴書の送付待ちや合否判定待ちなど、求職者の応募状況も管理が可能。求人票一つまで無料で掲載でき、全国600社以上が利用するようになった。

求人票の情報以外に、社内の雰囲気や先輩社員の声など、若い求職者が求める情報も掲載する。ハローワークとデータを連携させ、求人番号を入力するだけで採用サイトを作れる「SHIRAHANA WORK（シラハワーク）」も提供。さらなる利便性向上へアップデートを続ける。

大手と組み課題解決

県が20年6月、福岡市に開設した若者向けUIJターン拠点施設「dot.（ドット）」の管理・運営を担う。主に福岡の県出身学生が学習、イベント、キャリア相談で利用。学生と企業の出会いの場として、

もり・ゆうた 1986年、竹田市出身。人材派遣などを手掛けるリクルートスタッフィング（東京都）、ITベンチャーのイジゲン（大分市）などを経て2017年、ハブアンドコーを創業。



今年から出社の義務がない「リモート社員制度」を導入。森祐太さんは従業員の働き方改革にも積極的に取り組む=大分市

県内企業との情報交換会も開いている。

「採用にまつわる困り事を、リアルの空間を含め包括的にサポートしたい」。“垣根”を取り払い、サービスを提供する。

今年8月、医療、福祉、建設各業界の人材紹介大手、トライツグループ（大阪市）に全株式を譲渡、傘下に入った。2月以降の共同研究が好調だったことがきっかけ。「大手の顧客網や営業力があれば、よりスピード感を持って顧客の課題解決に取り組める」と前を見据える。介護や医療分野の転職サイト開発にも着手。来年のリリースを見込む。

県外で暮らしていた頃、帰省する度に「元気がなくなっていく」と感じ、故郷への思いを強くした。「地方ならではのアイデアで、社会課題を解決する」と、共同創業者と起業した。「大分発、地方発のベンチャーといえばハブアンドコーという存在を目指す」。思いに共感する従業員と共に、さらなる成長を目指す。

◆企業プロフィル

- ・従業員数 15人
- ・資本金 6787万5千円
- ・所在地 大分市金池町